

- 1 顕微鏡で観察する試料をのせるために用いられる、薄く平らな透明なガラス板を何という？
- 2 葉脈の並び方が平行になっている植物のグループを何というか？
- 3 受粉後、花の植物の器官のうち、成長して種子に変わる部分を何という？
- 4 アサリやカキのように、内臓が外とう膜に包まれ、二つの殻を持つ軟体動物のグループを何という？
- 5 胚珠がめしべの根元のふくらんだ部分に包まれている植物の総称を何という？
- 6 節足動物が成長する過程で、硬い外骨格を脱ぎ捨てて体が大きくなる現象を何という？
- 7 親が卵を産み、親の体外で卵の中の子が育って生まれる繁殖方法を何という？
- 8 肺でのガス交換において、血液中から肺胞へと移動し、最終的に呼気として体外へ追い出される気体は何か？
- 9 種子をつくらず胞子でふえ、根・茎・葉の区別があり維管束を持つ植物のグループを何という？
- 10 イカや貝類のように、筋肉質の膜で内臓が包まれているグループに見られる器官を何という？
- 11 親の体内で子がある程度育ってから生まれる生殖のしかたを何という？
- 12 ハチやチョウなどの昆虫によって花粉を運んでもらう植物の花を何という？
- 13 種子植物が発芽する際、最初の養分を蓄えている葉の部分を何という？
- 14 被子植物において、おしべでつくられた花粉がめしべの先につくことを何という？
- 15 単子葉類に見られる、太い中心の根がなく、細い根が多数集まった根の形態を何という？
- 16 シダ植物が花を咲かせずに繁殖するために使う、胞子が入っている袋を何という？
- 17 葉で光合成によって作られた養分を、植物の体全体へ運ぶための管を何という？
- 18 受粉後、雌しべの中に伸びていき、精細胞を胚珠へ運ぶ通道のことを何という？
- 19 顕微鏡で観察する際、対物レンズとプレパラートとの距離を調整するために回すねじを何という？
- 20 双子葉類の根に見られる、太く発達した中心となる根のことを何という？
- 21 双子葉類の葉に見られる、網目状に発達している組織を何という？
- 22 おしべやめしべなどの花を咲かせ、子房の中に胚珠があることで子孫を残す植物のグループを何という？
- 23 多くの魚類が体表面を覆い、物理的な刺激から体を守るために持つ硬い板状の組織を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	これは、観察する試料を載せる長方形の「 <u>スライドガラス</u> 」と、その上から被せる「カバーガラス」の2枚のガラス板で構成されます。		<u>スライドガラス</u>	☐
2	<u>単子葉類</u> は、種子から発芽する際に子葉が1枚だけ出てくるグループを指します。		<u>単子葉類</u>	☐
3	花において、めしべの根元にあるふくらみを子房と呼び、その中にある小さな粒が <u>胚珠</u> です。		<u>胚珠</u>	☐
4	外套膜（がいとうまく）から分泌される成分で二つの殻を作り、その中に柔らかい体を収めています。		<u>二枚貝</u>	☐
5	胚珠が子房という器官に包まれている植物を <u>被子植物</u> と呼びます。		<u>被子植物</u>	☐
6	体が大きくなると古い殻を破って脱ぎ捨て、新しい柔らかい殻が固まるまでの間に体を急激に大きくします。		<u>脱皮</u>	☐
7	親が卵を産み、その中で子が成長して孵化する繁殖形態を <u>卵生</u> といいます。		<u>卵生</u>	☐
8	<u>二酸化炭素</u> は、私たちが酸素を消費してエネルギーを作った際に生じる不要な気体です。		<u>二酸化炭素</u>	☐
9	<u>シダ植物</u> は種子をつくらず孢子でふえますが、根・茎・葉の区別があり、水や養分の通り道である維管束を持っています。		<u>シダ植物</u>	☐
10	<u>外套膜</u> は、貝類やイカ、タコなどの体に見られる筋肉質の組織です。		<u>外套膜</u>	☐
11	<u>胎生</u> では、親の体内から栄養を供給しながら子を育てます。		<u>胎生</u>	☐
12	<u>虫媒花</u> は、目立つ花びらや甘い蜜、香りなどを出します。		<u>虫媒花</u>	☐
13	マメのなかまなどでは、この養分が <u>子葉</u> にたくわえられています。		<u>子葉</u>	☐
14	植物の生殖において、おしべから出た花粉が同じ種類または同じ個体のめしべの先端（柱頭）に付着する現象を「 <u>受粉</u> 」といいます。		<u>受粉</u>	☐
15	<u>ひげ根</u> は、トウモロコシやイネ、ユリなどの単子葉類に見られる特徴的な根の形です。		<u>ひげ根</u>	☐
16	<u>孢子のう</u> は、シダ植物が孢子を作るための器官です。		<u>孢子のう</u>	☐
17	<u>篩管</u> は維管束の構成要素の一つで、葉でつくられた糖などの養分を、体内の必要な場所へ分配する役割を果たします。		<u>篩管</u>	☐
18	柱頭についた花粉からは <u>花粉管</u> が伸び、めしべの中を通過して胚珠まで達します。		<u>花粉管</u>	☐
19	<u>調節ねじ</u> は、顕微鏡の鏡筒やステージを動かして対物レンズとプレパラートの距離を調整する部品です。		<u>調節ねじ</u>	☐
20	これを <u>主根</u> と呼び、そこからさらに細く枝分かれした側根が広がることで、土壌中の広い範囲から効率よく水分を吸い上げることができます。		<u>主根</u>	☐
21	双子葉類の葉には、網目状に広がった線が見られます。これが <u>葉脈</u> です。		<u>葉脈</u>	☐
22	<u>被子植物</u> は、花びらがよく、おしべ、めしべといった構造を持つことが特徴です。		<u>被子植物</u>	☐
23	皮膚から変化した組織で、体全体を覆っています。		<u>うろこ</u>	☐

言えなかった用語ノート